

2018年4月2日

技術革新と知的財産権に関する基本的な考え方

相澤英孝

知的財産権も、財産権であり、イギリスの産業革命に始まる世界的な経済発展において、重要な役割を果たしてきていることを忘れてはならない。

これは、第4次産業革命になっても、異なるものではない。情報化社会進展すればするほど情報に関する知的財産権の重要性を大きくなって行く。

もちろん、財産権は、その利用によって利益を得ることによって、その本来の意義を発揮するのであるから、知的財産権の利活用の重要性の意義もますます大きくなって行くであろう。

日本では、知的財産の意義が過小評価されているようであるが、米国の先端企業の特許出願や特許権の譲渡の状況をみれば、国際的な重要性は極めて高いと言える。

知的財産権は、競争の成果であり、競争がこれまでの繁栄、これからの繁栄をもたらすものと考えて行くべきである。

将来へのビジョンでも、経済成長の歴史を踏まえた議論が行われることを期待したい。